

えんちょう先生の わくわくだより

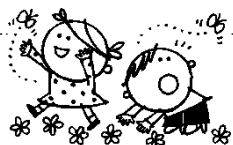
令和3年4・12 N01



28 名の新入園児を迎えて始まった令和3年度。入園式にはお家の人とニコニコと参加できたこども達も、その翌日には、知らない場所に置いて帰られるお父さんやお母さんの姿に大泣きの子の姿もあちこちに見えます。先生におんぶされっぱなしの1才児の子、「あっちあっち」と指さしてお家に帰りたいとせがむ2才児さん。3才になると力が強くて今にも門から出て行ってしまうように先生の腕を振り切る子の姿も見えます。やっと黙って砂場で「ごちそうをどうぞ」と勧める先生に、K君は「おなかですいたよ〜ちゆるちゆるがたべたいー」と言ってます。

「ばーばーでんわして〜」と後ろをついて回るN君、「それ、私の事？確かに」。職員室の受話器を持って「もしもし、お母さんN君がお家に帰りたいから迎えに来てください。掃除が終わったら来れますか？」に、やっと納得してミルクとおせんべいを職員室で食べ始めました。二日目には、職員室の「ちゅーりっぷ綺麗だね」「おやつどこで作るの？」と気持ちの余裕が伺えます。昨日まで大泣きだった2才児のH君も外のおもちゃや砂に手が出る様になりました。まだまだ不安な気持ちはあるかと思いますが、周りの友達のやることに目を留めてじーとみていたり、ふと動き出して、おもちゃの箱から好きなおもちゃを手を取ったり、少しずつ少しずつ生活に慣れていくこども達の姿が見えています。室内にいと余計に不安になるから、少しでも早く外に出て遊ぶ様にしている入園当初です。こどもの順応力は早い！きっと今に元気いっぱい遊べるようになるね。すでに園に慣れている先輩たちは、先生と一緒に、不安そうな小さい子達に寄り添ってくれています。年長さんは、下の畑の草取りも始まり、「園長先生、備中で耕したよ！」と報告に来てくれました。

ちょうちょ かわいい！



紫色の帽子の年中さんに交じって黄緑色の帽子を被った年少さんの姿も見える職員室前。プランターの周りに集まって円陣を組みじーと動かず…見れば生まれたばかりの小さな灰色の蝶を小さな指で恐る恐る触りながら「うごいた」「ちいさい」「お花のベッドだ」・・・と思ひ思ひのお喋りをしながら見つめているこども達。暫く見ている内に、ぱ〜と飛んでUちゃんのピンクの靴に。又、その蝶をパンジーの花に戻し・・・を繰り返している。「花の蜜を吸って元気になるといいね」と声を掛ける先生に「おなかですいていたか？」「もっと蜜をすえ！」「先生、飛んだら青く見えるね」「ちょうちょちょうちょ菜の葉にとまれ〜♪」なんて歌いながら時間が一時間位流れていきました。こどもって、こんなに時間をゆっくり使うんだと感心したひと時。たった1匹の小さな蝶の動きを、みんなで思ひ思ひの言葉で表現しながら、色や形や飛び方をみつめている。これこそ遊びの中で育つ小さな科学の芽。こどもが育つこんな時間を大切にしたいと思いました。翌日年中組のI君「園長先生、うちに帰ったら、ちょうちょの羽根がついとったよ」と話してくれました。そういえば、昨日ずーと見ていたもんね。



ボエム

ちいさいこ

ころんで ないてる

ちいさいこ

でもぼくね

おこさないで みていたんだ

おきながら

ママがぼくに

するように

やっぱり えらいな

ちいさいこ

ほら もうね

ないてないよ めをふいた

ほこりを はらって

しゃんと たった

ぼくがいつも するように



平成30年より施行された新要領。こどもが遊んだり生活する中で様々な体験をし、一人一人のペースで興味を広げていく事が乳幼児期の学びです。決して小学校教育を先取りする事ではないと書かれています



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 共同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関り
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関り・生命尊重
- ⑧ 数量・図形・文字等への関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現



年長さん、下の畑の草取りです。今年はどんな野菜ができるかなあ？